

令和5年度第3回学校運営協議会長情報交換会 議事録要旨

日 時 令和6年2月14日（水）9時30分～11時30分

場 所 町民センター

出席者 出席 12名

- ・二宮小学校 片岡 学校運営協議会長、山内 地域学校協働活動推進員、和田校長
- ・一色小学校 渡邊 学校運営協議会長、橋本 地域学校協働活動推進員、中西校長
- ・山西小学校 井上 地域学校協働活動推進員、北川校長
- ・二宮中学校 加山 学校運営協議会長、石井 地域学校協働活動推進員

町 7名

- ・教育長、教育部長
- ・教育総務課
倉重指導担当課長、高谷課長代理（指導主事）、安藤指導班長（指導主事）、西山主任主事
- ・生涯学習課
山下課長

欠席 3名

- ・二宮中学校 伊庭校長
- ・二宮西中学校 泉 学校運営協議会長兼地域学校協働活動推進員、藤田校長

傍聴者 0名

配布資料

- ・次第
- ・資料1 令和6年度の取組内容について
- ・資料2 令和5年度にのみや学園の主な取り組み
- ・資料3 にのみや学園通信8号～9号

議事録

1	開会
2	教育長挨拶
3	情報交換（1）令和5年度の取組について
二宮中	・二宮中では、学習支援部会、環境整備部会、地域活動部会の3つがある。 ・学習支援部会について。4年目を迎えた。テストの二週間前から開始している。1回目は200人以上、2回目は3年生のテスト期間を合わせたため1、2年の参加が少ない。3回目は1、2年生が多く参加している。 ・学習の場でもあるが、生徒の居場所になっている。 ・最初は二宮高校、元教員がボランティアに参加だったが、高校卒業後も参加していただ

	ている。徐々に広がっていくとよい。 ・学校環境整備部会ついて。前は学校の修繕活動について報告させていただいた。 ・9月以降には防災倉庫の見学を実施したり、2年生の生徒と地域の地区懇談会を行った。 ・農家の方、園長、不動産屋の方に来ていただき、生徒を対象にパネルディスカッションを行っていただいた。プリンスジュンさんのSNSにも活動内容が掲載されている。 ・学校協議委員と先生方がコミュニケーションをとって、活動の活性化につながった。 ・地域活動部会について。はらっぱマルシェに参加した。 課題としては、学習支援としては少しずつ増えてきている。中学生のライフスタイルに合わせた学習相談を考えている。 ・地域活動のほうでは、2年やってきた経過を来年度生かしていきたい。
事務局	・二宮高校の生徒からくる学習支援部のボランティアは、二宮中の卒業生のみか。
二宮中	・二宮高校には、ボランティア部があり、二宮中学校とは関係のない生徒も来てくれている。 ・江南高校所属で、大学の進学が決まった生徒も参加してくれている。
二宮小	・学校150周年が行われ、記念事業や記念誌発行。盛り上がりを見せた。 ・新春の集いでは、子どもから大人までが音楽でつながることができた。今後もこのような積み重ねを繰り返してにのみや学園としての基礎を築いていきたい。 ・学校以外の活動をどうしたらよいか、お互いの小中学校の傍聴をすることができた。 ・東大跡地祭では、はらっぱで歌った合唱団と一緒に歌うことができた。 ・個人情報課題もあり、登校の方法を来年度変えていく。地区長説明会などで二宮小学校のPTAの校外委員と、コミュニティ・スクールの校外安全部と連携して伝えてきた。地域の方々と事例でつなげることができた。 ・来季の計画としては5つ。 (1) 学校以外の小中学校一貫校体制の内容を、地域と連動して進めていく。 (2) 学びふれあい部会で、地域で児童の学びをどう支援していくかを来年度は本格的にすすめていきたい。 (3) 校外安全部会と校外の委員会。旗振りボランティアを呼び掛けていきたい。 (4) 学びふれあいで地域の専門の方を活用して質問コーナーを設けた。例えば「なぜ鳥は飛ぶのか」などの疑問に答えた。児童が疑問に思っていることを答えられるようにしていきたい。 (5) 環境整備部会では、大掃除、草取りなどしてきた。野菜作りも取り入れていきたい。
一色小	・これまでやってきたことを検証していきたいと考えている。 ・2/16に中川洋太先生を招いて研修会を実施予定。 ・地域に開かれている学校を進めているが、開けば開くほど不特定多数となるが、名簿作りや名札を作成し、安心安全につなげられるよう進めている。 (橋本) ・授業サポートについて。ICT支援では、最初のアカウントの手続きで大人の補助があるとスムーズに進む。また、家庭科のミシンの作業でも補助をしている。

	・総合的な学習の時間では、4、5年生で友情の山の整備を行った。友情の山について、先生方もいろいろと考え、授業に組み込んで実践している。友情の山に対して、愛着を持ってどのように保全していくか、気運を高めていきたい。 ・今、山がどういう状態なのかを知り、対応策を考えるため、生物多様性の専門家の坂田昌子さんを講師に招いて、山の環境の改善に取り組んでいる。 ・子どもも先生のやり方を見て、丁寧に作業に取り組んでいた。今月いっぱい行う。 ・桜の移植を行う予定である。 ・スマイルネットルーム、お昼休みにちょこっと掃除サポート、牛乳パックリサイクルサポートなどを継続していく。 ・ききょう苑の方には、卒業式や入学式の飾りなどたくさん作っていただいた。 ・友情の山の活動には、かながわトラストみどり財団の助成金を活用している。 ・第2回一色スマイルアート展を実施した。推進員が地域のアーティストを探し、学校で展示してもらった。 ・学区にいろいろなアーティストの方々がいるので、学校で行えば児童も触れることもできるし、何かにつながればと思って始めた。 ・年代、作風も様々なものがあり、喜んで展示してくれた。 ・作家さん同士の交流も深めることができた。 ・クラスで見に来てくれた子どもたちは、水彩画の前で、普段の図工の授業での絵の具の使い方と比べてみたり、じっくりと一人で作品を眺めたりしていた。 ・放課後子ども教室で、焼き芋を行うことにした。有機農法で作られたさつまいもを提供してもらおう。学校の畑でもさつまいもを育て、農業を通して、農家の人と交流できた。 ・地域の方の個人情報の扱いについて気をつけていく必要がある。 ・保護者の方も活動に参加してくれてありがたい。学校について当事者意識をもって関わっていけるようにしたい。 ・友情の山の存在が大きい。山を保全、改善していく。 ・スマイルアート展では、子どもが身近に感じてくれた。地域の方々をつなげる場の提供ができた。
山西小	・見守り部会については、旗振り見守りの調整を行っている。旗振り当番が負担である意見を受けて、負担の緩和を図るため調整をしている。 ・環境美化部会について。以前は中庭を整備していた。今後はPTAと連携して、卒業式の花の準備を支援していきたい。それ以外の環境整備も検討していく。 ・「つなげ、コミュニティ感謝の会」を設けていただいた。学校運営協議会としては、ふれあう活動を通して、大人と子どもをつなげていきたい。 ・学習支援では、3学期は生活科の授業に昔遊び名人会の方に来ていただく予定。 ・ゲストティーチャーや学習支援ボランティア等の発掘、確保が課題。地域へチラシなどで呼びかけていきたい。 ・学校のニーズを、2回学校の先生に調査させていただいた。教科以外のニーズ、教材の整備や校外指導のつきそいなど。

	・放課後子ども教室については、焼き芋を3回に分けて実施。農家さんに火つけ、焼き方などを指導していただき、よい雰囲気で行われた。 ・放課後子ども教室の開催日を検討する必要がある。 ・スタッフを確保するのが課題。保護者の方で、当日家庭の事情で参加できないという声もある。より多くの方に携わってほしい。 ・子どもが活動するにあたり、スペースを広げるとその分、多くの大人の目が必要となる。 ・子どもたちはケンカが起きたとき、スタッフに伝えてくれるが、中には職員室の先生にそのことを伝えにくいことがあった。 ・教員とスタッフとの間に考えのずれがあるとき、丁寧にやりとりをしていきたい。 ・旗振りの負担感については、立つ場所や人数を整理するなど、人員の配置を見直すことにより改善した。地図を作っていく必要がある。来年度あたり、PTAと学校運営協議会とが協力して取り組む宿題になる。 ・卒業式の準備で、PTAからの支援はありがたいが、お手伝いをしたい方の気持ちを大切にしつつ、無理のない形で進めていきたい。
一色小	・山西小の旗振りについて、精査した部分を教えてほしい。
山西小	・各地区で、保護者がどれだけ立っているかを把握したうえで、どの場所での旗振りが負担であるか、駐在の方に協力していただければ負担が軽減できるなど相談しながら進めた。
一色小	・スマイルネットとしても、地域の見守りの人たちもある程度いるので、そのバランスをどう整えればよいのか継続的に検討しないといけないと思う。
二宮小	・（旗振りに関しては）負担と個人情報に課題があった。（旗振りを見直したことにより）負担が減り、安全であればよい。
一色小	・小さい町なので、災害が起きたとき、顔が見えている関係だとよい。
二宮小	・登校途中で、何か起きたとき、学校と地域で連動していけるようにしていきたい。
一色小	・保護者と学校で、情報が共有されていない等、行き違ふことがあったりすることもあると思うが、具体的にはどのようなものがあるか。
山西小	・卒業式は学校の儀式的行事なので、本来はお花の準備も学校主体でやるものであるが、「誰か協力してくれないかな」と中途半端に声をかけてしまい、地域の方を戸惑わせてしまったことがあった。
一色小	・お互いに知ることは推進員としても大切である。
山西小	・一緒にやっという気持ちは大切である。
	（２）来年度以降の取組
事務局	・資料１（学校運営協議会長情報交換会）について説明。 ・「学校運営協議会長情報交換会」を「学校運営協議会長等情報交換会」に変更する。 ・令和６年度も、今年度と同様に交換会を設ける。
一色小	・小中一貫について、学校運営協議会で何かできることはないだろうか。
二宮小	・小中で、連動して学校運営協議会を進めていき、よりよいものにしていきたい。
一色小	・今年度は、各校の取組について共有できたので、何か共通のテーマで何か協議していけ

	たらと思う。
事務局	・会議を開催する前に、テーマにしたい話題を共有できるようにしたい。
事務局	・将来は統合していくが、各学校の活動を盛り上げていくことが大事。当面は現在の形で進めていく。
事務局	・資料1(学校運営協議会)について説明。
事務局	・令和6年度に、にのみや学園として協働して取り組めるものはあるか。
一色小	・学校運営協議会での研修について、他校にも参加を呼び掛けていきたい。
事務局	・子どもたちにとって成長できる機会を提供する環境を整えていくことが大事である。この学校運営協議会等の取組が、子どもたちにとって大きく成長できる機会になっており、そういう機会をご提供いただいていることを強く感じた。 ・二宮中学校のプレゼンの話では、全校生徒や小学生を前に発表することは、ものすごく緊張したと思うが、それが大きな成長に繋がると感じた。 ・一色小学校のスマイルアート展は、学習指導要領には美術館と連携して鑑賞教育を進めていくということが記載されているが、学校で美術館に行く機会はほとんどない。そうした中での一色小での取組は、子どもたちにとって大きな成長の機会であり、中にはそれがきっかけとなり、何か夢が定まっていくという子も、もしかしたらいるかもしれない。 ・にのみや学園の取組(小小なかよしプロジェクト)を、「にのみや学園通信」で掲載させていただいている。 ・来年度は、大きく変わらないが内容は今日の会議の意見を参考にしていきたい。
事務局	・給食の関係で、2月21日に地場産デーで、給食に二宮町の原木しいたけを使用した献立として麻婆豆腐が提供される。
	閉会